

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	ガーゼ等を用いた採尿法が尿検査に与える影響
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	2025 年 8 月から 2026 年 8 月までに新潟大学医歯学総合病院で尿検査を受けた方が対象です。
③概要	私たちはガーゼなどを用いて採取した尿で検査した場合、普通に採取した尿で検査した時と比べてどんな影響が出るかを調べることを目的として研究しています。この研究では日常診療の中で採取された尿検体で、測定が終わった残りの検体を使って、尿中の成分（例：タンパク、糖、電解質など）の検査値がガーゼなどによってどんな影響を受けるかを調べます。 この研究は、診療の過程で得られた検体と診療情報を用いて実施するので、新たな検査や治療など患者さまに対する追加の負担は一切ありません。また、使用する情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。研究への協力を希望されない場合は下記の連絡先までお申し出ください。お申し出があった場合には、その方の情報や検体は研究には一切使用いたしません。なお、研究への協力はあくまで任意であり、協力されなかった場合でも診療上の不利益を被ることは一切ありません。どうぞご安心ください。
④申請番号	2025-0151
⑤研究の目的・意義	尿検査は血液検査と違って針を刺したりすることが無く痛みが少ない検査ですが、たくさんの体についての情報が得られます。このような尿検査で、特に小児や新生児の尿検査では尿を採る時にガーゼなどを用いることがあります。ガーゼなどを用いることで比較的簡単に尿を採ることができますが、この方法はガーゼなどの中の成分が溶け出したり、体から出てきた成分がガーゼなどにくっついて検査結果に影響が出る可能性があります。ガーゼなどを使って採った尿を検査するとどんな影響が有るのか、無いのか。また、影響が有るとしたらどれくらい影響が有るかを明らかにすることがこの研究の目的です。これらが明らかになることで、検査結果が適切に解釈されることができるようになり、検査を受ける多くの患者さんに利益があると考えられます。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から 2026 年 8 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	電子カルテに保存されている病歴、血液検査結果、尿検査結果、日常診療で検査を受けた後の測定済みの余った検体を利用します。使用するデータおよび検体は個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。

⑧利用または提供する情報の項目	病歴（年齢，性別，死亡情報，治療（輸血歴など）内容），血液検査結果，尿検査結果，日常診療で検査を受けた後の測定済みの余った検体。
⑨利用する者の範囲	本研究で用いる検体情報および診療情報は新潟大学医歯学総合病院の以下の者が利用いたします。 ・研究責任者 新潟大学大学院医歯学総合研究科分子・診断病理学分野 大橋 瑠子 ・研究分担者 医療技術部臨床検査部門 久住 亮介 医療技術部臨床検査部門 齋藤 温 医療技術部臨床検査部門 星山 良樹 検査部 尾方 英至 ・個人情報管理者 医療技術部臨床検査部門 久住 亮介
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	所属 新潟大学医歯学総合病院医療技術部臨床検査部門 臨床検査技師 久住 亮介
⑪お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学医歯学総合病院医療技術部臨床検査部門 氏名：久住 亮介 Tel：025-227-2098 E-mail：ryousukekusu.ud9@nuh.niigata-u.ac.jp 所属：新潟大学医歯学総合病院医療技術部臨床検査部門 氏名：星山 良樹 Tel：025-227-2690 E-mail：hyoshiki@med.niigata-u.ac.jp